

# わが国の飲酒実態と多量飲酒 に対する介入方法

独立行政法人国立病院機構  
久里浜アルコール症センター  
樋口 進

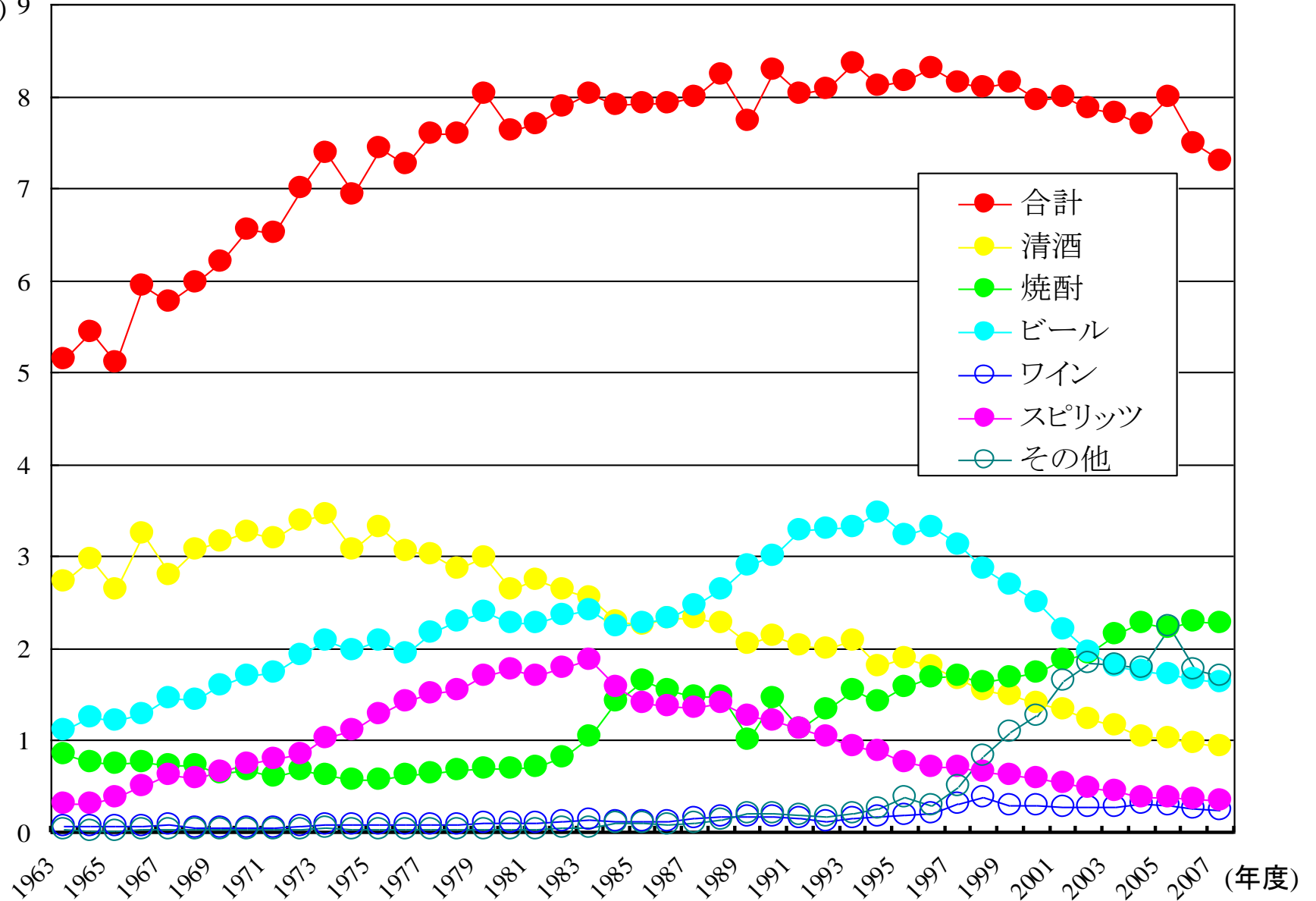
# 内 容

---

1. 飲酒とアルコール関連問題の現状
  - 1) 成人人口
  - 2) 未成年者
2. 最近のトピック
  - 1) アルコール使用障害と飲酒運転
  - 2) アルコールと自殺
3. 多量飲酒に対する介入方法

# 国民一人当たりの年間平均アルコール消費量の推移(15歳以上)

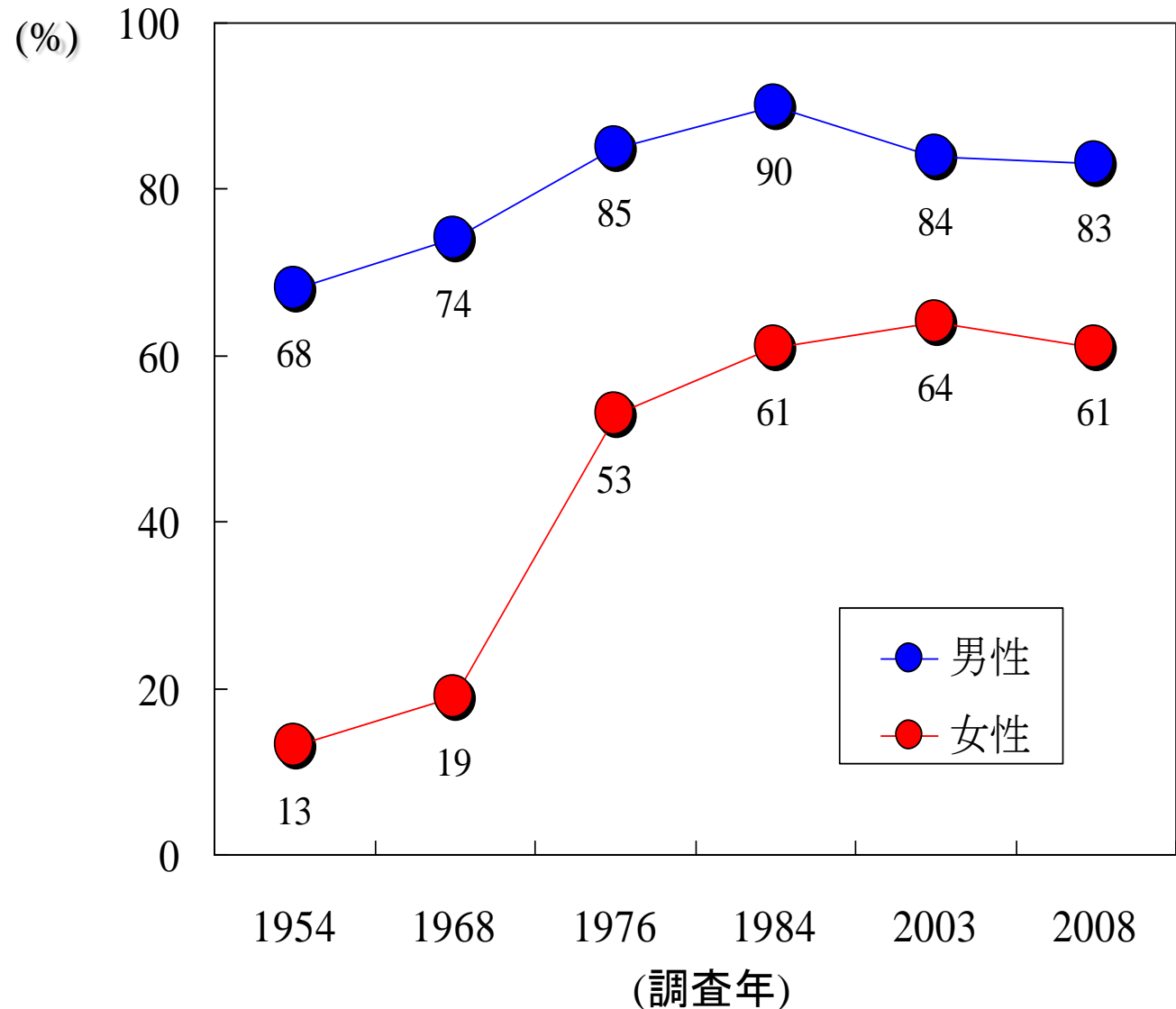
(リットル / 年) 9



# わが国成人の飲酒パターン

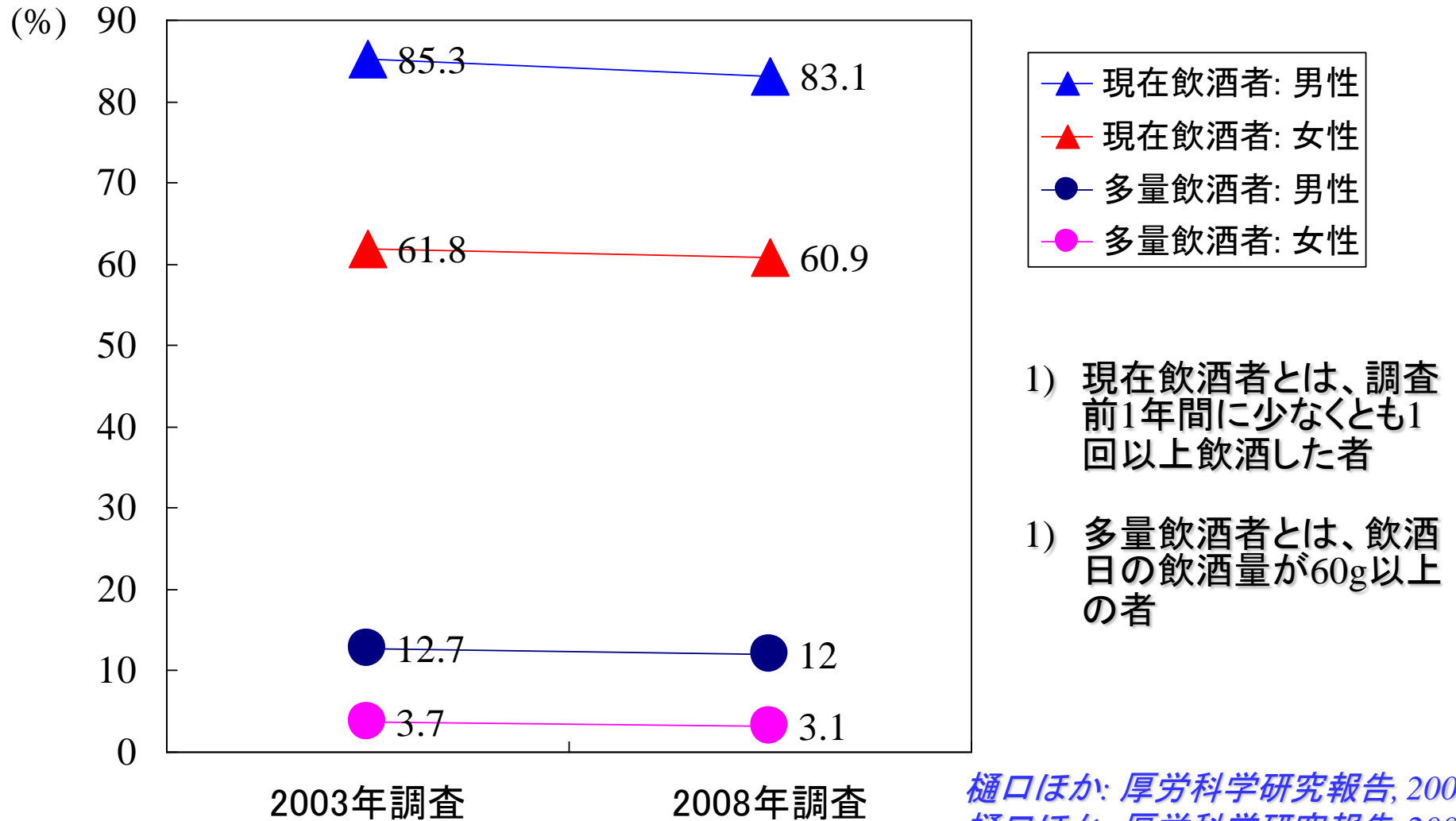
過去に行われた主な調査における現在飲酒者割合の変化

\* 現在飲酒者の定義は調査により異なるが、調査前1ヶ月または12ヶ月に1回以上飲酒した者



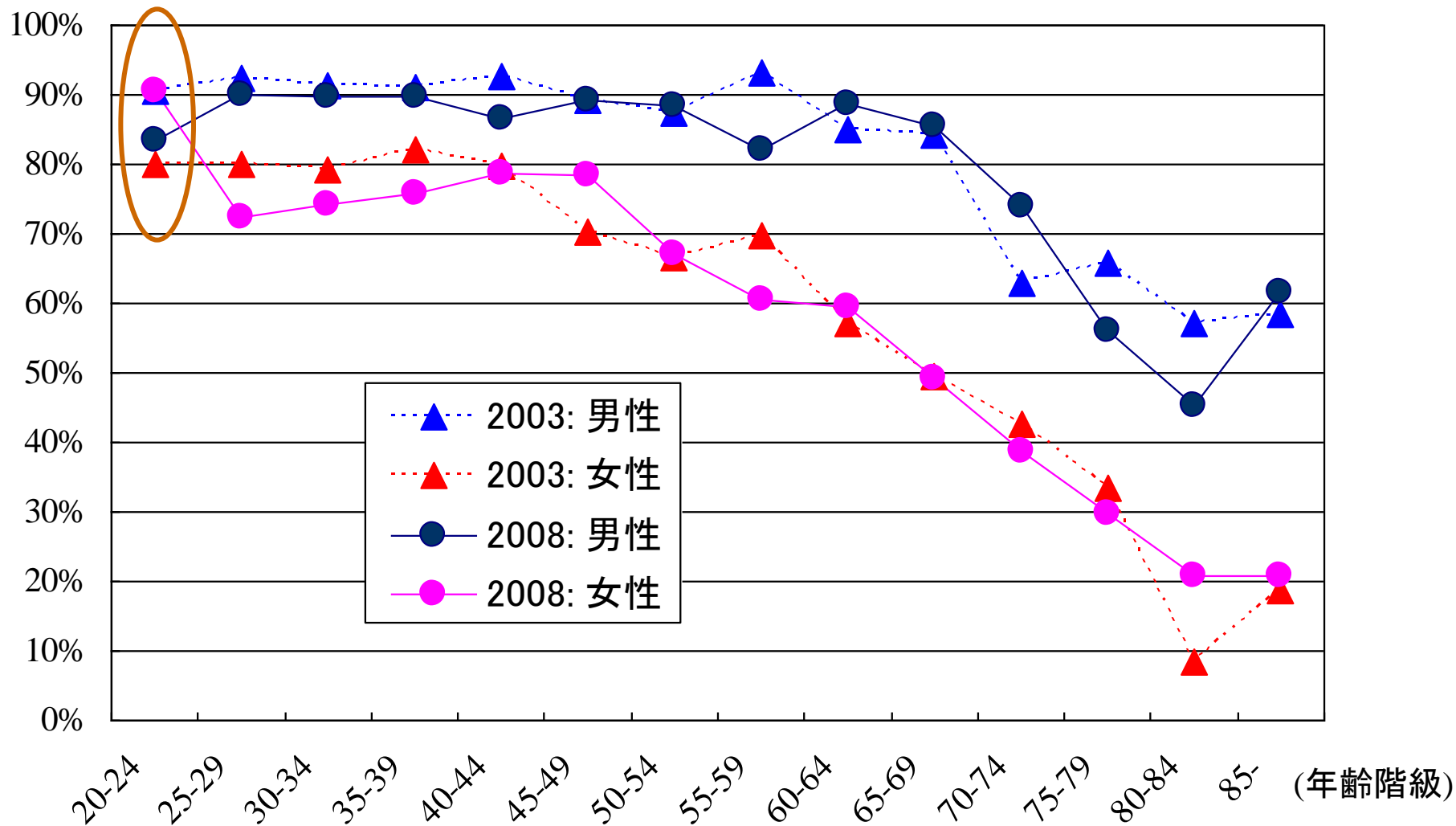


# 成人一般人口におけるアルコール消費パターン 2003年と2008年の比較



樋口ほか: 厚労科学研究報告, 2004.  
樋口ほか: 厚労科学研究報告, 2009.

# 年齢・性別の現在飲酒者の割合

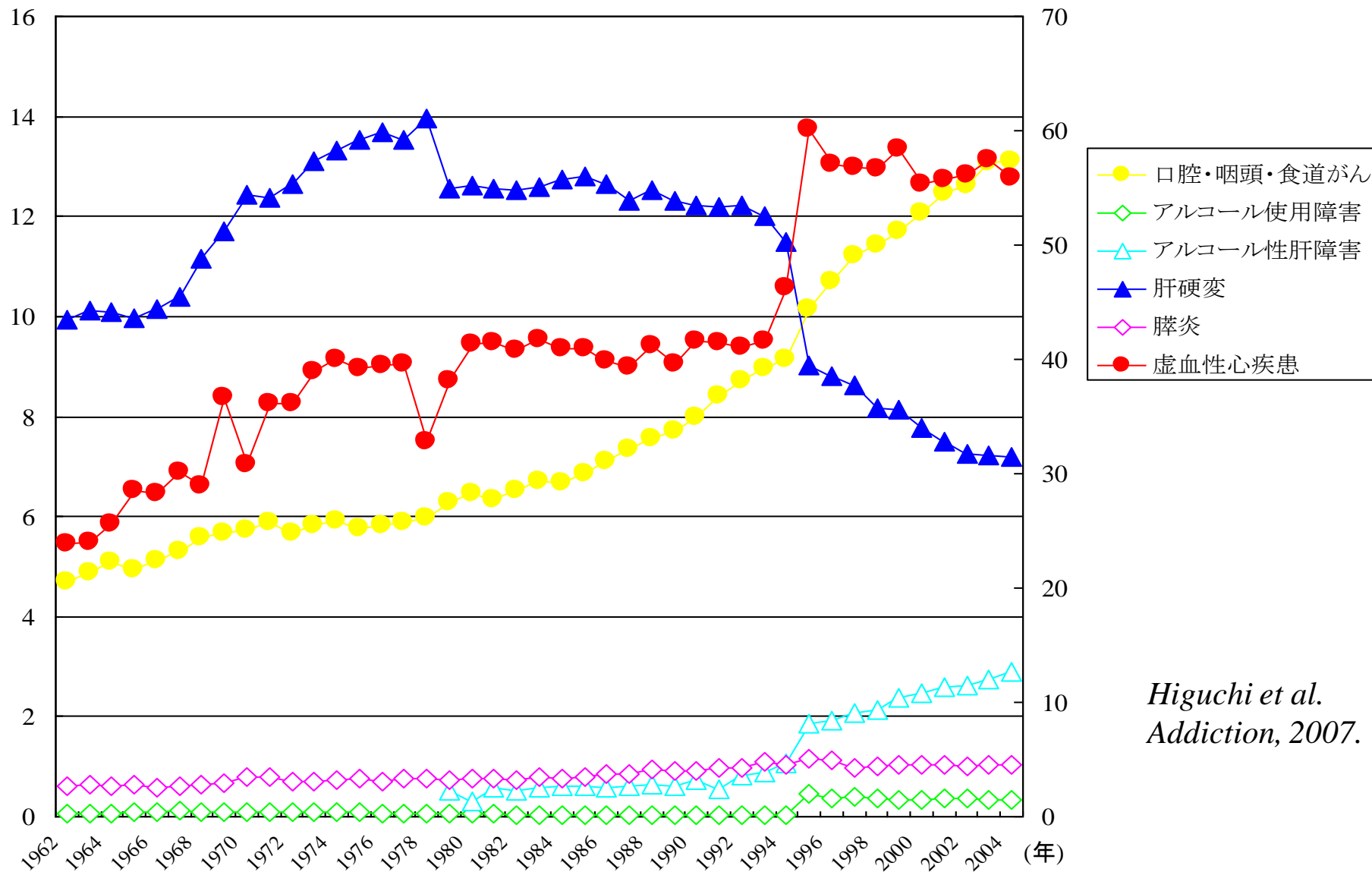


樋口ほか: 厚労科学研究報告, 2004.  
樋口ほか: 厚労科学研究報告, 2009.

# アルコール関連慢性疾患の死亡率の推移

(人口10万人当たりの死亡率)

虚血性心疾患  
(人口10万人当たりの死亡率)



Higuchi et al.  
Addiction, 2007.

図 わが国の中高生の飲酒者率(男子 96, 00, 04年)

(%) 100

飲酒率

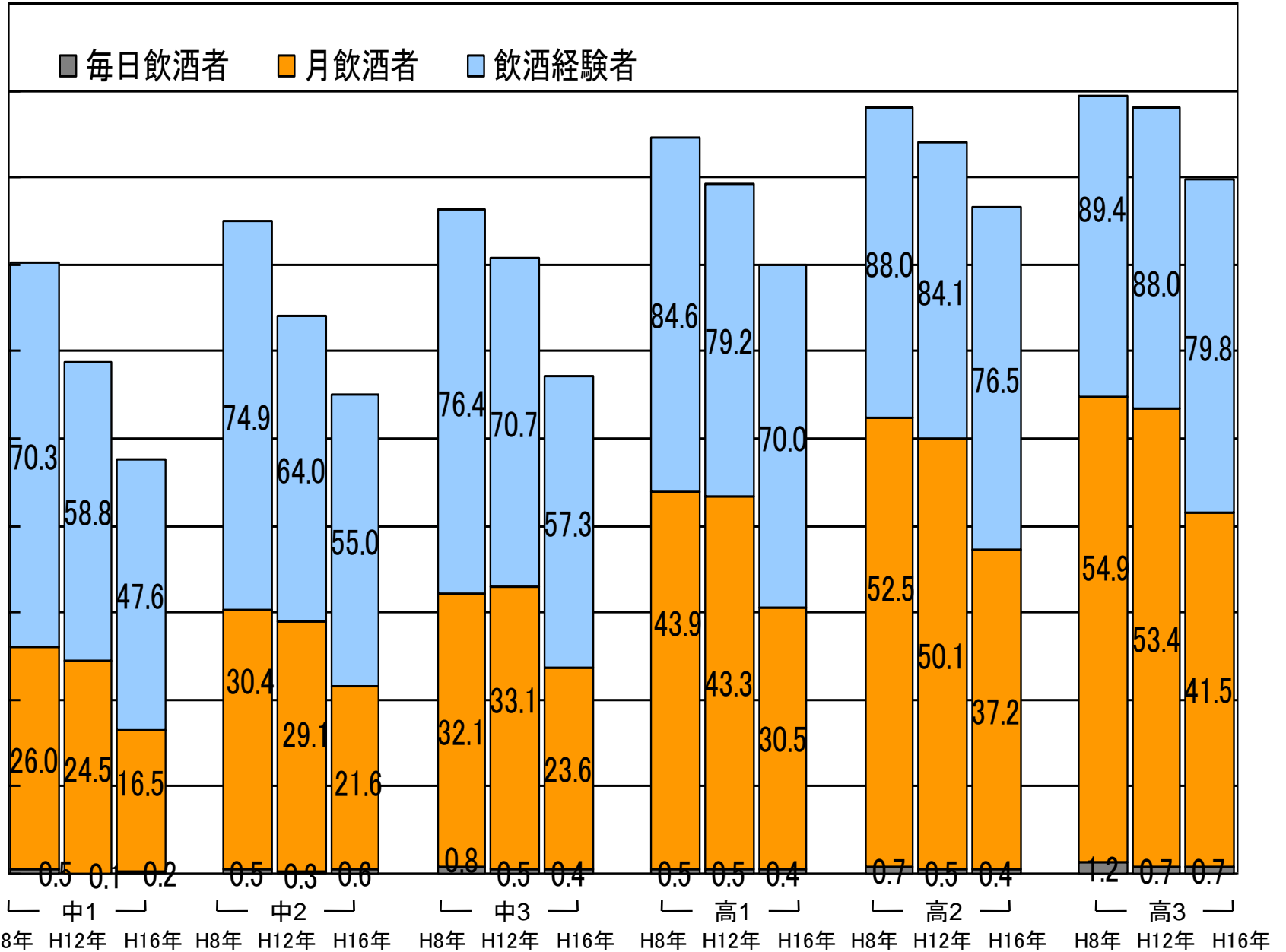
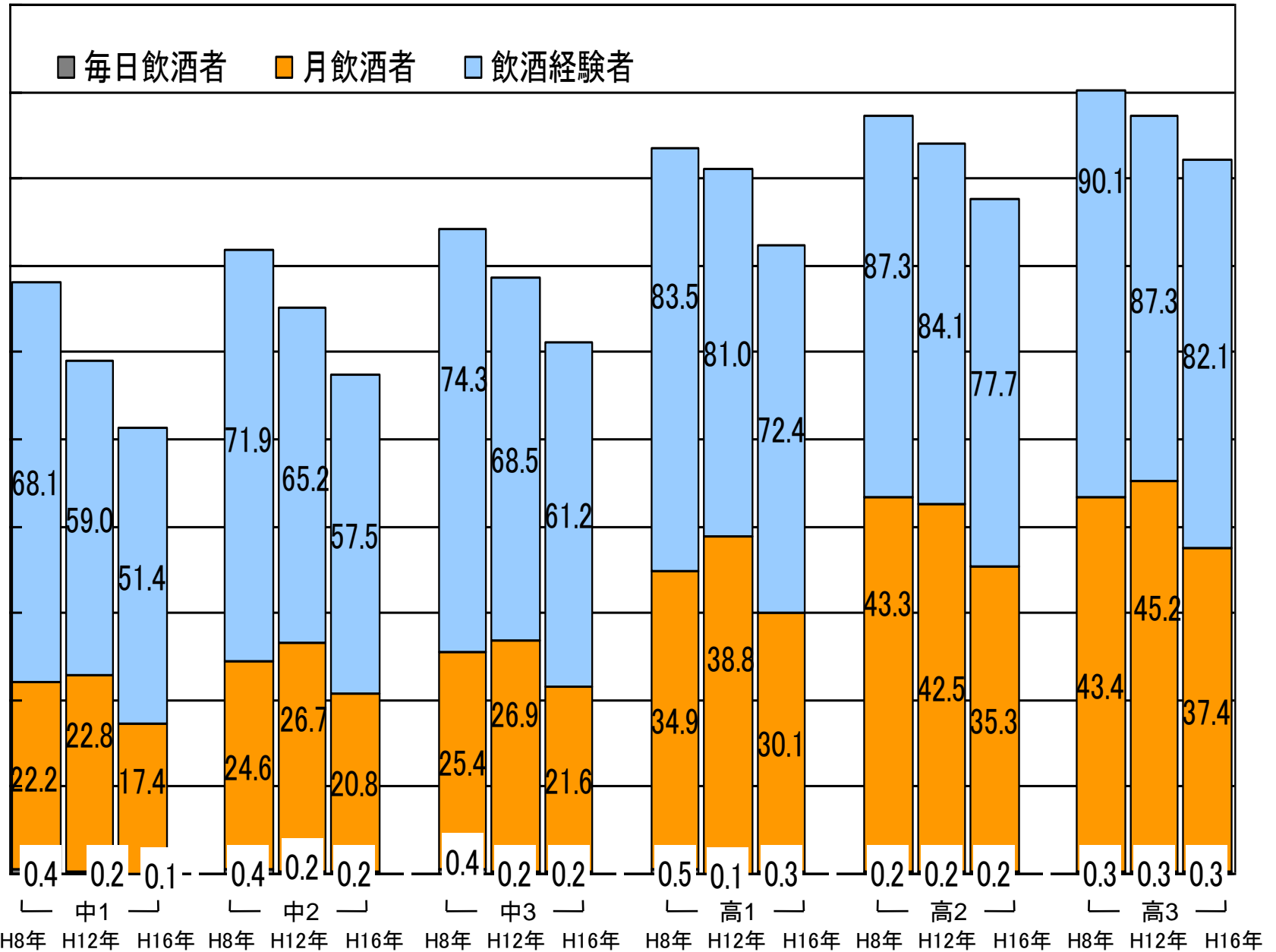


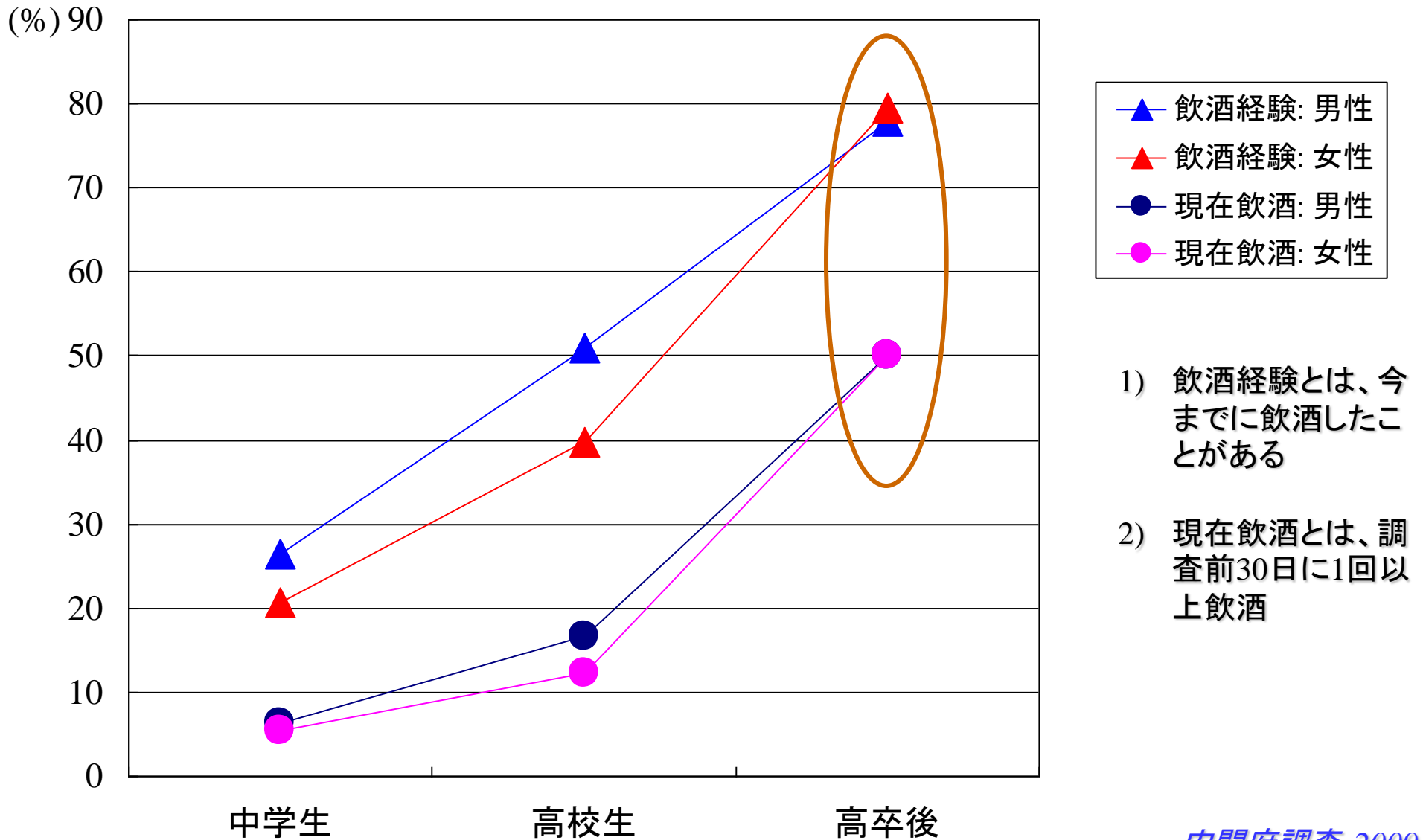
図 わが国の中高生の飲酒者率(女子 96, 00, 04年)

(%) 100

飲酒率



# 未成年者の飲酒に関するインターネット調査



# わが国の飲酒パターンのまとめ

---

1. 最近、未成年者・成人ともに飲酒率、飲酒量等は低下しているようだ
2. しかし、若年女性は増えており、同年代の男性を凌ぐ勢いである
3. アルコール関連健康問題は依然として増加の可能性が高い

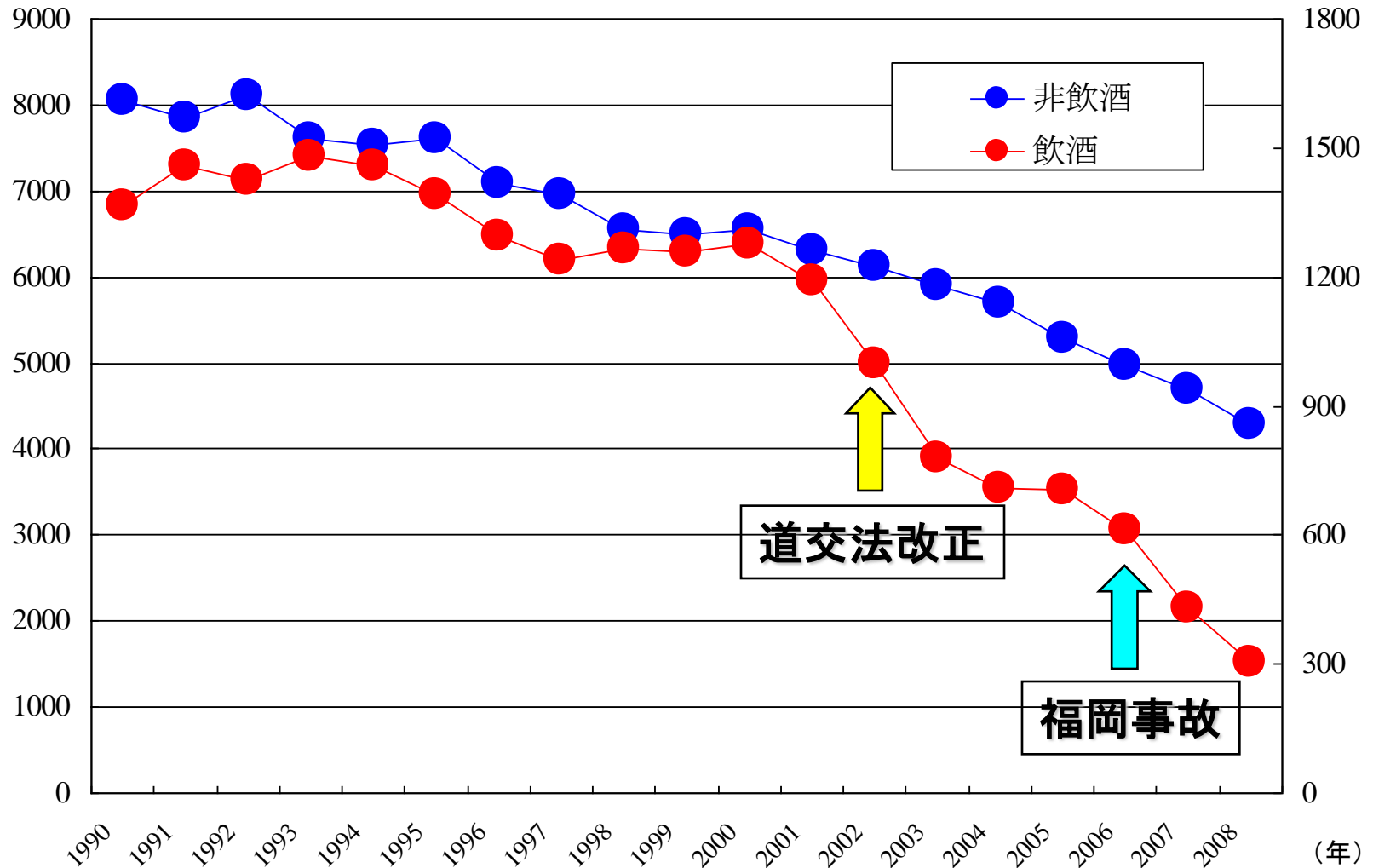
常習飲酒運転について



# 交通死亡事故件数の推移

(年間事死亡事故件数、非飲酒)

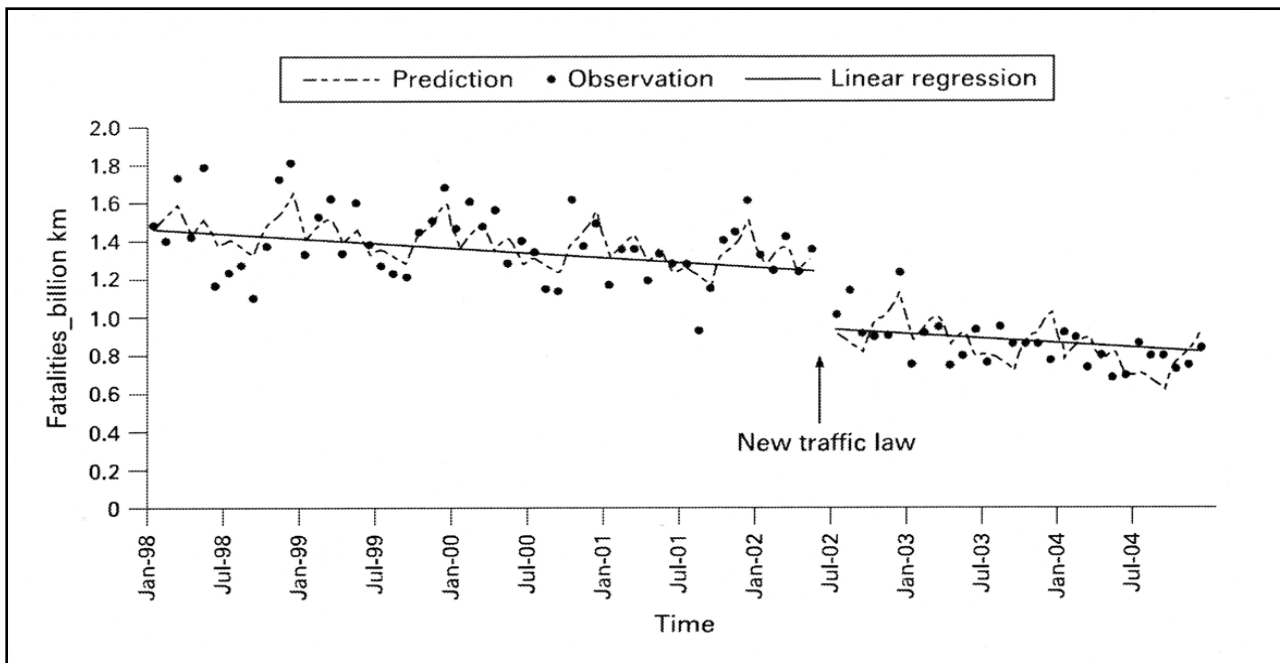
(年間死亡事故件数、飲酒)



# 図1.

10億km走行に対する飲酒運転による死亡者数の実測値と予測値(1998-2004年)

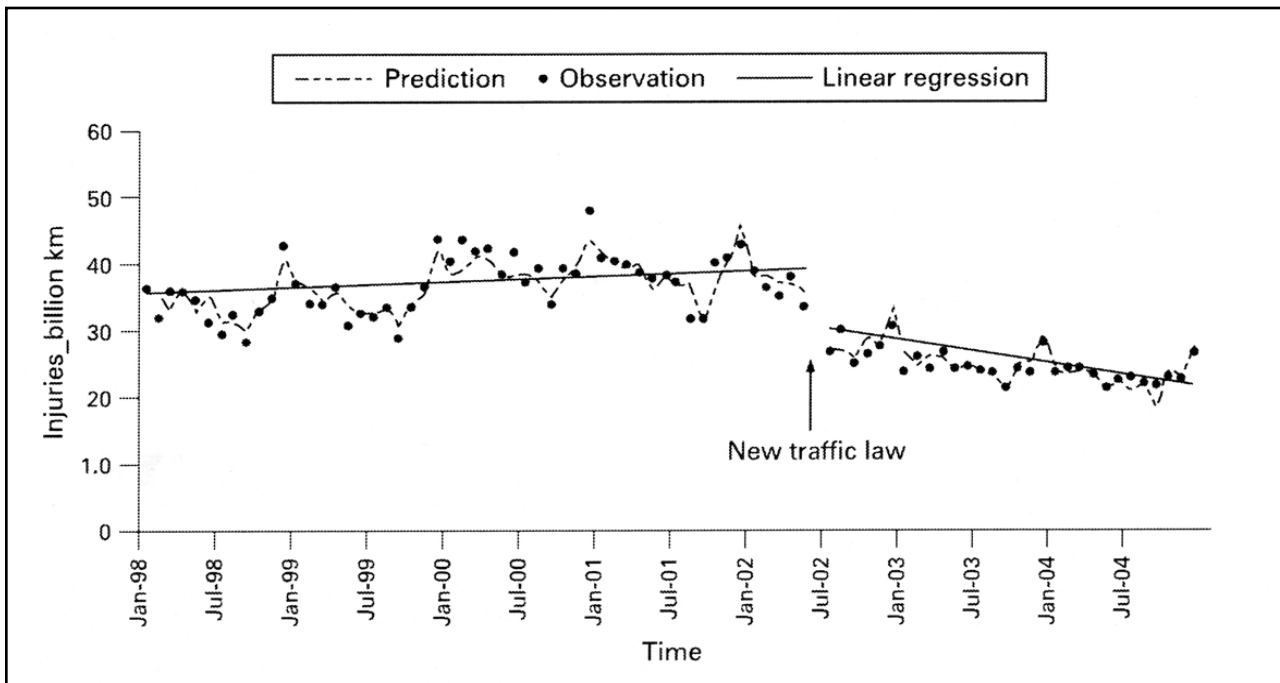
(Stepwise autoregression modelによる)



# 図2.

10億km走行に対する飲酒運転による負傷者数の実測値と予測値(1998-2004年)

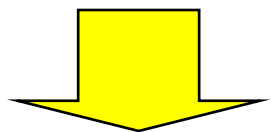
(Stepwise autoregression modelによる)



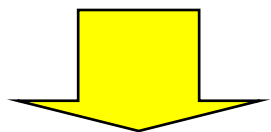
飲酒運転の厳罰化は  
非常に有効な手段

しかし、  
それにも限界があるようだ

飲酒運転厳罰化に反応しない人

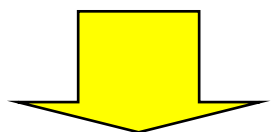


常習飲酒運転者



どのような人？

明らかにできれば対策可能



少しずつ明らかになってきている

# 諸外国の研究では

---

## 飲酒運転を繰り返す人

- 一定の社会的背景をもつ

男性に多い、経済的に安定していない人に多い、単身者に多い...など

- 一定の性格傾向を持つ

怒りっぽい、刺激追求性が高い、うつ傾向が高い...など

- アルコール依存傾向が強い

飲酒運転で事故を起こした人または逮捕された人の25%-50%はアルコール依存症

# 2008年全国調查結果

# 成人の全国調査 (2008年調査概要)

---

地域：全国

母集団：満20歳以上の男女個人

標本数：7,500人

地点数：356地点

抽出方法：層化2段無作為抽出法

回収数：4,123 (回収率55%)

実質回収率(69%)

# 飲酒運転の経験

項目	男性	女性
飲酒運転経験あり+検挙2回以上	25 (1.4%)	1 (0.05%)
飲酒運転経験あり+検挙1回	103 (5.6%)	9 (0.4%)
飲酒運転経験あり+検挙なし	450 (24.5%)	174 (8.0%)
飲酒運転経験なし	1,169 (63.7%)	1,405 (64.2%)
運転の経験なし	87 (4.7%)	599 (27.3%)
合計	1,834 (100.0%)	2,188 (100.0%)

1) 飲酒運転経験者の割合: 男性31.5%(578/1,834)、女性8.4%(184/2,188)

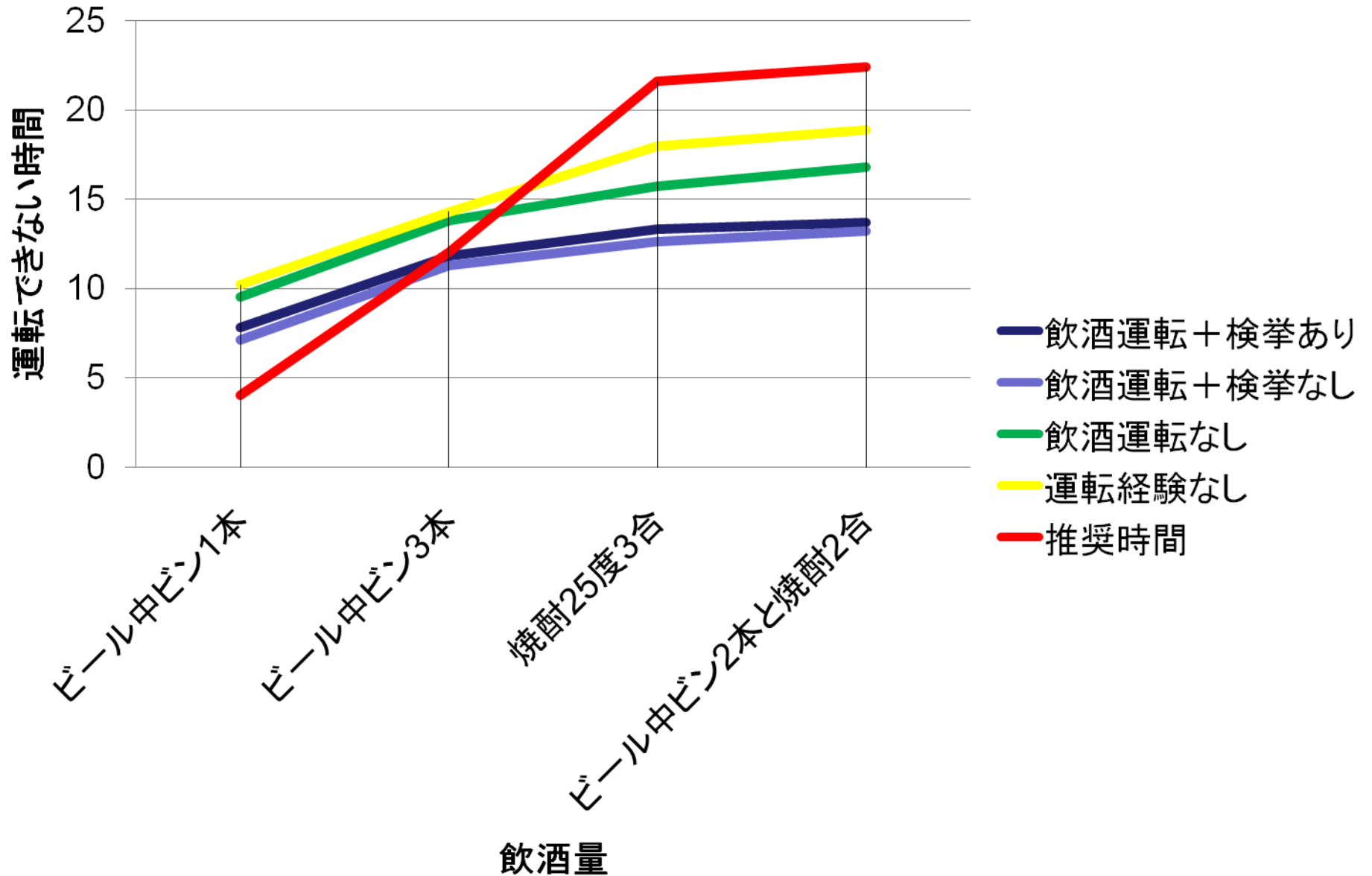
2) 欠損値: 男性46、女性55。



## 以下の4問を質問

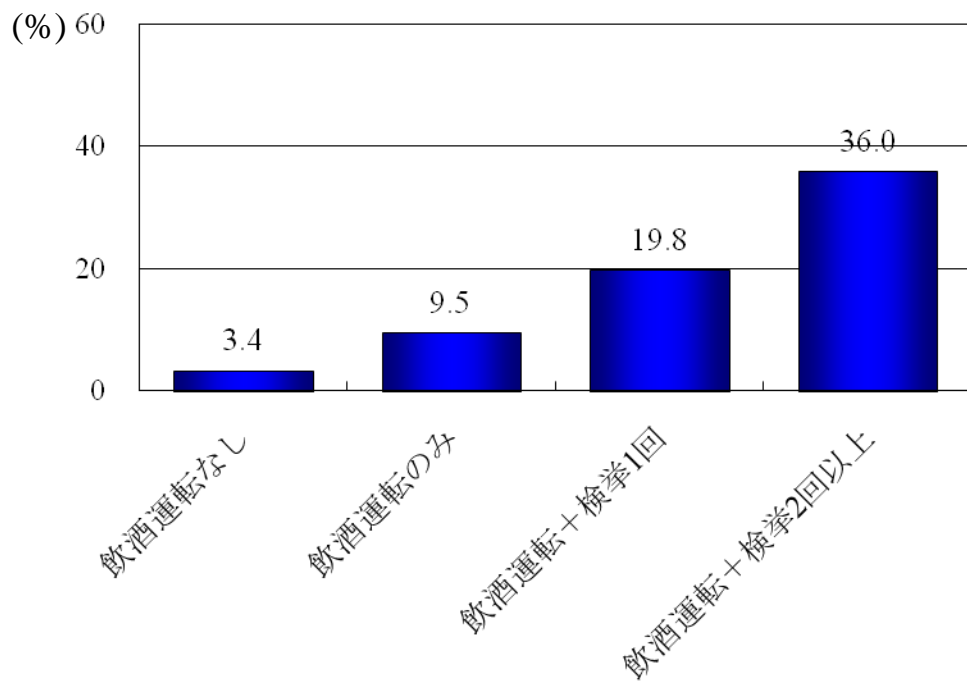
1. 以下の質問は一般的な知識として伺います。あなたは**ビール中ビン1本**(またはカンビール500mL 1本または日本酒1合)を飲んだ時、どの位の時間運転をしてはいけないと思いますか。
2. あなたは**ビール中ビン3本**(またはカンビール500mL 3本または日本酒3合)を飲んだ時、どの位の時間運転をしてはいけないと思いますか。
3. あなたは**25度の焼酎(または泡盛)を3合**飲んだ時、どの位の時間運転をしてはいけないと思いますか。
4. あなたは**ビール中ビン2本**(またはカンビール500mL 2本または日本酒2合)と**25度の焼酎(または泡盛)2合**を飲んだ時、どの位の時間運転をしてはいけないと思いますか。

# 飲酒後に運転してはいけない時間: 男性

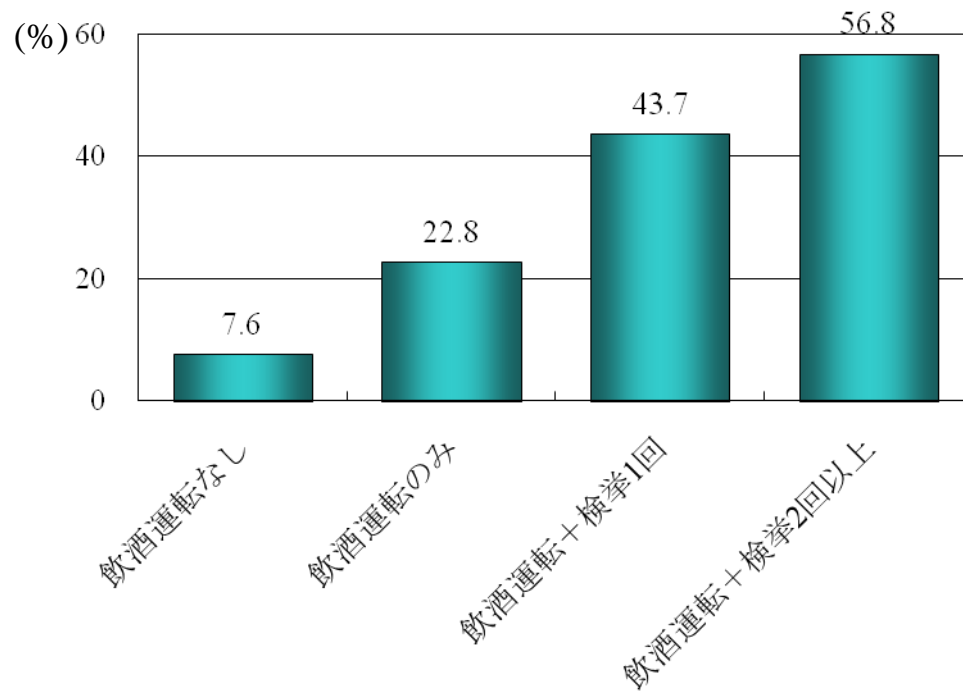


# 飲酒運転経験とアルコール依存症との関係: 男性 一般成人と取消処分者講習受講者の比較

## 一般成人 (N=1,747)



## 取消処分者 (N=3,243)



1) 図のパーセントはAUDITで15点以上の者の割合.

# 飲酒運転理由と依存症との関係: 男性飲酒運転経験あり

飲酒運転理由	アルコール依存症の疑い(+) (N=71)	アルコール依存症の疑い(-) (N=486)	統計的有意差
飲酒運転の自覚がなかった	25.4%	18.9%	0.2042
大きな問題にならないと思った	52.1%	50.3%	0.7765
悪いことだと思わなかった	9.9%	11.7%	0.6446
飲酒量が少ないので大丈夫	74.7%	79.1%	0.3935
飲酒から時間がたっていた	73.2%	74.8%	0.7784
飲みたい気持ちが強かった	63.8%	37.2%	<0.0001
1日中酔っていた	4.2%	1.7%	0.1464
前日の飲酒量を減らせなかった	47.1%	15.5%	<0.0001
いつもの場所だから大丈夫	56.3%	51.2%	0.4220
目的地が近かった	67.6%	74.4%	0.2270
事故を起こさない自信があった	71.8%	68.0%	0.5128
捕まったことがないので大丈夫	40.9%	46.5%	0.3728
他の交通手段がなかった	46.5%	58.3%	0.0612

アルコール依存症の疑い: AUDIT得点が15点以上の者

# 結 論

- 飲酒運転の常習性と多量飲酒・アルコール依存との関係が一般人でも確認された。
- 常習飲酒運転者に対する教育・治療システムの導入とその効果評価が必要である。
- 国民に対する、飲酒運転に関するさらなる教育・啓発が必要である。